

天文学の扉を開こう

8月の夜空

【塵も積もれば】

ケーキやビスケットを作るとき、粉から始めることでしょう。粉に砂糖やバターなどを付け加えて焼き上げればできあがり。とは言っても、途中にはいろいろなプロセスがあり、細かい点まで明確に説明しようとする、そう簡単にはいきません。

太陽系の天体もそうです。もとは粉。微細な岩石や鉱物、有機物などです。火星軌道以遠では、これに水や二酸化酸素、一酸化炭素などが凍った「氷」が付け加わります。太陽の周囲の空間を考えると、火星軌道を含む球面に囲まれた空間が占める体積はごくわずかなので、太陽系の天体の主な材料は岩石と氷の粉だったと言って差し支えありません。たとえば、太陽から火星までは約1.5天文単位（地球—太陽間のおおよその距離が1天文単位。）、冥王星までは約40天文単位ですから、その体積比は約1万9千となり、地球が存在する空間は太陽系のまさに微々たる部分です。何となくショックですが、これが現実です。

天体の材料となった粉は、「塵」や「ダスト」と呼ばれます。どこでどのようにして作られたかは別として、このような塵が集まって、太陽以外の太陽系の天体が形作られてきたのだと考えられています。惑星も小惑星も彗星も衛星も、みんなそうです。

最も大きいのが惑星。もとの塵が何だったのか、それがどのように変わっていったのかが最もわからないものです。これに対して小惑星や彗星、衛星は、大きさも成分もさまざまだけでなく、惑星に比べたら非常に数が多く、太陽系の多数派です。多様性に富むこれら天体を調べれば、地球のような惑星がどのように塵からできあがっていったのか、そのプロセスを読み解くことができるでしょう。「はやぶさ」や「はやぶさ2」のような探査機で物質を持ち帰って調べようとする意義は、ここにあります。

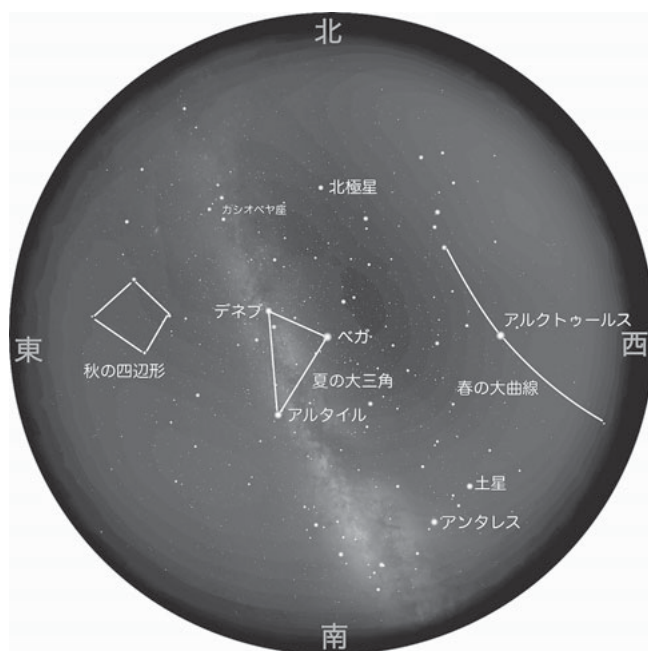
さて、8月といえばペルセウス座流星群。彗星の塵が地球に付け加わるとき光を放つのが流れ星です。今ようやく地球にやってきた塵の、歓喜の光とも見えそうです。

8月のぐんま天文台のイベント

- ・ 7日、21日(金) 夏休み特別観望日
- ・ 12日(水)
ペルセウス座流星群説明会・観察会
- ・ 13日(木)～16日(日)
天の川と土星を見よう
- ・ 22日(土)
携帯カメラやデジカメで月を撮ろう

○星図の説明

8月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります。(月を除く。)



ぐんま天文台に
かざられた
幼稚園児の
願い事…



最後に、8月は
日中30度を超える
真夏日や猛暑日が
続きます。外で活動する
時以外でも熱中症に気
を付けて水分塩分補給
をしっかりしましょう。
私も夏バテをしないよ
うに、沢山食べて体力を
つけます。

リトル
ミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品
七夕のお願い事の絵を描き
ました。



「ケーキ屋さんになりたいです」
たなか みゆ ちゃん



「お花屋さんになりたいです」
たなか ちひろ ちゃん

わが家の
アイドル

※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(*^_^*) ☎26-7944(直通)



戸室 黒岩 璃乃ちゃん(2歳)

私の名前は「りの」です。

家族や友達にはもちろん、人に優しくできる子になってほしいと名付けてもらいました。ママのお腹にいる時は、男の子かと思うくらいとっても元気に動いたり蹴ったりしていたので、生まれて女の子でママとパパを驚かせちゃったんだって！

おてんばな所もあるけど、明るい性格で、いつも面白いことをして家族を楽しませてくれます、とママ。

こちら「6代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！第22期緑のふるさと協力隊の手柴瑞代です。

夏本番の8月になりました！2015年は、折り返し地点を過ぎ、皆さんのお陰で活動は5カ月目を迎える事が出来ました。

6月は梅雨空が続き、思いっきり外で活動ができない日々が続きました。また、洗濯物が外に干せず、晴れる日

が待ち遠しかったです。雨の日の活動は、出荷の準備等室内で出来る作業をしていました。

「晴耕雨読」という言葉があるように、雨の季節を楽しみました。

7月は、本宿地区のお祭りに参加させていただき、活気ある高山村を目の当たりにしました。

8月はふるさと祭りがあります！地区のお祭り以上に賑やかになると思うので、今から楽しみです。

高山ぶらぶら <http://taka-midori06.jugem.jp/>